



<灘区の特徴>

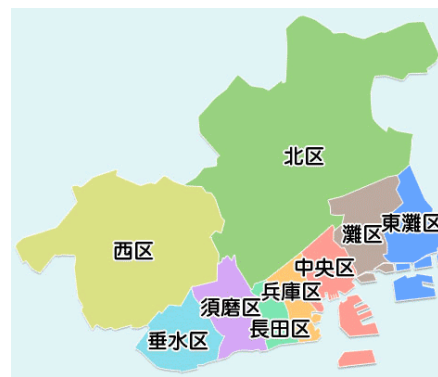
昭和4年（1929年）4月に六甲村・西灘村・西郷町が神戸市に編入され、昭和6年（1931年）9月に神戸市の行政区設置に伴い「灘区」が誕生しました。

灘区は神戸市の東部に位置し、東灘区、中央区、北区に隣接しています。北は六甲山地がそびえ、南は瀬戸内海・大阪湾に面しています。

六甲山地の山麓南斜面を南下する西郷川、都賀川、石屋川などの河川が形成した複合扇状地の上に、市街地が広がっています。

緑豊かな六甲山・摩耶山や都賀川の清流があり、穏やかな瀬戸内海に面した、大変魅力のある住みよいまちです。

人口：136,451人
世帯数：68,603世帯
面積：32.66 km²
(令和2年11月1日現在)



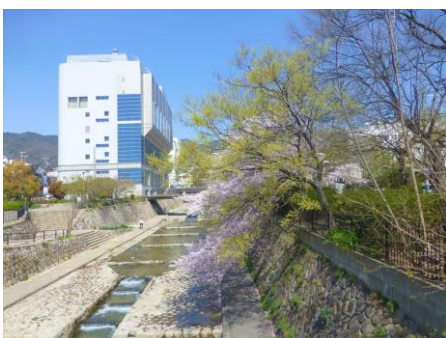
○灘百選

灘区内には、敏馬神社や西求女塚古墳などの史跡や灘五郷のひとつである西郷の酒造地帯等、多くの歴史資源や魅力資源があります。このようなたくさんの魅力資源の中から、灘区にふさわしいものを募集し、区民・有識者が中心となって検討を重ね、最終的に「灘区民まちづくり会議」で100の魅力資源が「灘百選」として選ばれました。

(その後、平成20年に「もっと灘百選」として新たに11ヶ所を灘百選として認定しました。)

詳しくは灘区ホームページをご覧ください。

(<https://www.city.kobe.lg.jp/c63604/kuyakusho/nadaku/shokai/miryoku/hyakusen/index.html>)



(都賀川)



(摩耶山)